

No. 1260

防災30年

3月7日、自治省消防庁主催の「自治体消防制度30周年記念式典」が東京・北の丸公園の日本武道館に天皇陛下をお迎えして行われた。

式典には、全国市町村の消防関係者約1万人が出席、福田首相らの祝辞の後、消防功労者に褒章伝達式があり、次いで天皇陛下からおことばあった。

また、武道館前には、ヘリコプターや大型化学車、大型高所放水車、照明電源車などが展示され、今日の高層ビル、石油コンビナート、地下街などの火災や地震に対処する新兵器が紹介された。

「馬の村」誕生

— 茨城・美浦 —

世界一の規模をもつ“競走馬の村”日本中央競馬会的美浦トレーニングセンターへの大移動が3月7日から始まった。わが国では、これまで競馬場が「競馬の開催」と「競走馬の調教・飼養・管理」の2つの機能を果たしてきた。しかし、昭和40年代に入り、競馬が大衆レジャーの一つとして盛んになり、来場者が急増し、競走馬の数も増大した。そこで、これら2つの機能を十分に果たすためには種々の問題が生じてきた。そんなことで、トレーニングセンターの建設が10年前から進められ、この程完成、競走馬2000余頭、関係者5000人が集まる“競走馬の村”が茨城県・美浦村に誕生した。村長さんは「過疎対策に歯止めができるし、財政的にも大助かり、それに公害もない」と大喜び。一方競馬会と馬主側に若干の対立があったものの、解決を見せ、約一ヶ月をかけて、移転を終了する。この世界一の「馬の村」誕生、しめて530億円とか。